

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成 23 年 6 月 15 日

都道府県知事

大分県知事 広瀬 勝貞 殿

提出者

住 所 津久見市入船西町 2 1 番 1 号

氏 名 小代築炉工業株式会社 小代 一幸

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0972-82-4155

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	小代築炉工業株式会社
事業場の所在地	津久見市入船西町 2 1 番 1 号
計画期間	平成 23 年 4 月 1 日～H 24 年 3 月 31 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	[06] 総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高(H 22 年 7 月期) 2, 009, 086 千円
③従業員数	219 名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	「委託処理」中間処理：破碎・焼却・選別・脱水・圧縮・固化 「委託処理」最終処分：管理型・安定型

(日本工業規格 A 列 4 番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
<pre> graph TD S[社長] --- TM[技術管理者] S --- D[担当者] D --- S1[現場] D --- S2[現場] D --- S3[現場] D --- S4[現場] D --- S5[現場] </pre>			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（平成22年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	別紙のとおり t	t
	（これまでに実施した取組） 発注者の処理計画に従い産業廃棄物の排出抑制に努めている。 内容は、再生利用できるもの、工場等で燃料として使用できるもの等の分別に努めている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	別紙のとおり t	t
	（今後実施する予定の取組） 今後も発注者の処理計画に従い、産業廃棄物の排出の抑制に努める。 再生利用可能な物は極力再生利用できるように、現場責任者より働きかけをしていく。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現場での解体作業等で排出までの過程で分別作業を行っている。 各現場責任者及び協力業者への指導を実施している。		
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現状と同様。		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成22年度）実績】 実績無し		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	（これまでに実施した取組） 自社での再生利用は、設備が無く困難な為できていないが、再生利用できそうなものは現場責任者が確認・判断し、業者へ連絡・協議をしリサイクルに努めている。		
②計画	【目標】 計画なし		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	（今後実施する予定の取組） 自社での再生利用は、設備が無い為困難であるが、今まで同様、他業者（処理業者）が再生利用しやすい様に極力、協議しながら作業を進める。情報収集、情報公開に努める。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成22年度）実績】 実績無し		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
（これまでに実施した取組） 中間処理事業の許可を有していない。			
②計画	【目標】 計画無し		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t
（今後実施する予定の取組） 中間処理事業許可を取得する予定はない。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成22年度）実績】 実績なし		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 最終処分の許可は有しているが、事業をしていない。		
②計画	【目標】 計画なし		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 現状と同様。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成22年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	別紙のとおり t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 優良認定処理業者は認識があったが、再生利用業者、認定熱回収業者の認識が無かったため、区別をした委託というものはなされていない。まだその業者数は少ないようである。		

②計画	【目標】 計画なし		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	別紙のとおり t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
今後、現在の取引先が上記のような認定等を受ければ積極的に考えていきたい。今のところはまだ未定。			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。